

日野町財政事情公告

日野町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 30 年日野町条例第 31 号）第 2 条および地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、平成 23 年 3 月 31 日現在の公営企業の業務状況をここに公表する。

平成 23 年 6 月 1 日

日野町長 藤 澤 直 広

財 政 事 情

(水道事業会計)

平成23年6月
日 野 町

平成22年度下半期(10月～3月)水道事業

1. 概 況

(1) 受水状況

当町の水道事業は、県が運営する東南部上水道供給事業用水により、水道水を賄っています。

平成22年度下半期の受水状況は右表のとおりであり、1日平均受水量は6,793m³で、去年同期と比べて日量125.2m³(1.8%)の減となりました。

東南部上水道供給事業からの受水状況

	平成22年度	平成21年度	比較増減
10月	221,879	222,524	△ 645
11月	208,111	209,460	△ 1,349
12月	219,233	218,450	783
1 月	215,442	216,712	△ 1,270
2 月	191,924	181,592	10,332
3 月	174,237	204,872	△ 30,635
計	1,230,826	1,253,610	△ 22,784
日 数	182	182	0
日 量	6,762.8	6,888.0	△ 125.2

(単位:m³)

(2) 有収水量

平成22年度下半期の給水状況は、給水人口20,559人(H23. 3. 31現在)前年度より180人減少し、1日平均有収水量6,193m³となり、去年同期と比べて日量20.0m³の減となっています。(1日1人当たりの有収水量は301ℓ)

平成22年度末における使用給水栓数は7,303栓で、昨年とほぼ同じ使用水栓となっています。平成22年度の新規開栓数は71栓ありました。その内新設アパートが4棟27栓となっています。

調定有収水量の比較増減

	平成22年度	平成21年度	比較増減
10月	181,236	170,055	11,181
11月	215,446	216,721	△ 1,275
12月	156,595	157,560	△ 965
1 月	219,612	214,435	5,177
2 月	164,749	163,087	1,662
3 月	189,421	208,840	△ 19,419
計	1,127,059	1,130,698	△ 3,639
日 数	182	182	0
日 量	6,192.6	6,212.6	△ 20.0

(単位:m³)

(3) 建設改良事業の状況

平成22年度の建設改良事業は、三団地水道整備のため、五月台配水池築造工事(配管・機械)を行いました。下水道工事に伴う配水管布設替工事として曙工区の工事を行い、平成21年度からの繰越事業として中山西工区の配水管布設替工事を実施しました。

(4) 経理の状況

ア、予算の補正の状況

収益的収支では、総務省の高料金対策にかかる繰入の基準を満たしたことから、一般会計からの補助金が認められ増額補正をしました。費用については、日野幼稚園の敷地内にあった大窪第二水源地の除却費用と日野町の地域水道ビジョン策定に要する費用を増額補正しています。資本的収支では、五月台配水池築造工事の事業精査に伴い、収入では国庫補助金・出資金を、支出では固定資産購入費・配水設備改良費をそれぞれ減額を行いました。

イ、予算の執行状況

平成22年度の予算執行状況は、次のとおりです。予算執行状況(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

●収益的収支

(単位:円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
水道事業収益	615,409,000	0	21,926,000	637,335,000	647,220,528	101.6
営業収益	612,615,000	0	△ 5,200,000	607,415,000	617,228,850	101.6
営業外収益	2,794,000	0	27,126,000	29,920,000	29,991,678	100.2
特別利益	0	0	0	0	0	0.0
水道事業費用	640,908,000	0	5,198,000	646,106,000	607,143,420	94.0
営業費用	611,795,000	0	5,198,000	616,993,000	582,263,949	94.4
営業外費用	28,113,000	0	0	28,113,000	24,879,471	88.5
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0.0

業務状況報告書

●資本的収支

(単位:円)

科 目	当 初 予 算 額	繰越額による財源 充当額及び繰越額	補 正 予 算 額	予 算 現 額 A	執 行 額 B	B / A %
資 本 的 収 入	230,111,000	40,516,000	△ 24,151,000	246,476,000	247,391,450	100.4
国 庫 補 助 金	62,551,000	6,516,000	△ 8,151,000	60,916,000	60,477,000	0.0
県 補 助 金	0	0	0	0	0	0.0
出 資 金	69,560,000	6,500,000	△ 3,200,000	72,860,000	71,660,000	98.4
企 業 債	82,000,000	0	△ 16,300,000	65,700,000	65,700,000	100.0
工 事 負 担 金	16,000,000	27,500,000	3,500,000	47,000,000	49,554,450	105.4
資 本 的 支 出	356,639,000	64,730,000	△ 16,500,000	404,869,000	368,888,729	91.1
建 設 改 良 費	252,370,000	64,730,000	△ 16,500,000	300,600,000	266,939,719	88.8
企業債償還金	104,269,000	0	0	104,269,000	101,949,010	97.8

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

ウ、決算の状況

① 損益収支

水道事業収入の大部分を占める給水収益は、前年度と比較し、大きな変化はありません。新規の水道加入者数は前年度と比較し、やや増加しています。役場周辺の住宅地での新規加入が増えているのが特徴です。このため、雑収入が前年度と比較し、18.4%増えました。また、総務省の高料金対策補助に係る繰出し基準の条件をみたしたことにより、一般会計より約2千7百万円の補助金収入がありました。このため、収入金額で前年度と比較すると増額となり、総事業収入は昨年度と比較し4.0%増加し618,144,759円となりました。

事業費用は、配水および給水費・修繕費、受託工事費・工事請負費および減価償却費が前年度と比較し、減額となりました。また、公的資金補償金免除繰上償還の効果等により支払利息が3,334,583円、13.1%の減額となりました。一方、昨年と比較し増額となった主な項目は、新規事業として取り組んだ「日野町水道ビジョン策定業務」により、委託料が前年度比較で5.3%増えました。また、休止施設であった大窪第二水源除却したことにより、固定資産除却費が1,804,245円、15.6%増加しました。総事業費用は昨年度と比較し2.3%減じ588,209,656円となりました。

この結果、平成22年度は29,935,103円の経常利益となり、平成10年度より続いていた赤字が解消され、累積欠損金は364,147,616円となりました。

●比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平 成 2 2 年 度 決 算 額 (A)	平 成 2 1 年 度 決 算 額 (B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	(A)/(B)%
水 道 事 業 収 益	618,144,759	594,446,904	23,697,855	104.0
営 業 収 益	588,152,126	589,875,330	△ 1,723,204	99.7
営 業 外 収 益	29,992,633	4,477,462	25,515,171	669.9
特 別 利 益	0	94,112	△ 94,112	皆減
水 道 事 業 費 用	588,209,656	602,272,323	△ 14,062,667	97.7
営 業 費 用	565,079,151	573,703,163	△ 8,624,012	98.5
営 業 外 費 用	23,130,505	28,569,160	△ 5,438,655	81.0
当年度純利益(損失)	29,935,103	△ 7,825,419	37,760,522	-382.5

② 財務状況

平成22年度末の総資産は、前年度より312,037,113円増加し、4,107,581,020円となりました。これに対し負債は138,915,030円増加し、227,379,642円に、資本は173,125,083円増加し3,880,201,378円となりました。

●比較貸借対照表

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成22年度 決 算 額	平成21年度 決 算 額	比 較 増 減	科 目	平成22年度 決 算 額	平成21年度 決 算 額	比 較 増 減
固 定 資 産	3,440,439,689	3,352,241,387	88,198,302	固 定 負 債	32,000,000	14,000,000	18,000,000
流 動 資 産	667,141,331	443,299,520	223,841,811	流 動 負 債	195,379,642	74,464,612	120,915,030
				負債合計	227,379,642	88,464,612	138,915,030
				資 本 金	1,481,558,187	1,446,147,197	35,410,990
				剰 余 金	2,398,643,191	2,260,929,098	137,714,093
				資本合計	3,880,201,378	3,707,076,295	173,125,083
合 計	4,107,581,020	3,795,540,907	312,040,113	合 計	4,107,581,020	3,795,540,907	312,040,113

③ 企業債の状況

平成23年3月31日現在の企業債の現在高は1,016,847,703円です。

エ、平成23年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給によって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度は、1日平均7,315m³の水道水の供給を予定をしています。

水道水の安定供給を図ることを目的に、住民生活に欠くことのできないライフラインの維持管理に努めてまいります。

また、平成21年度から着手した三団地(五月台他2団地)の水道整備事業も順調に事業実施が進み、平成23年3月には五月台配水池が完成したところです。今年度から椿野台への本格給水に向けた配水管布設工事に取り組みます。

平成23年度当初予算の概要

● 収益的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
水道事業収益		637,421	
	営業収益	634,535	
	営業外収益	2,886	
	特別収益	0	
水道事業費用		607,117	
	営業費用	581,242	
	営業外費用	24,875	
	予備費	1,000	

● 資本的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
資本的収入		263,715	
	国庫補助金	22,299	
	出資金	29,291	
	企業債	132,000	
	工事負担金	80,125	
資本的支出		426,178	
	建設改良費	342,627	
	企業債償還金	83,551	

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。